

保育理念		●園、保育者、保護者が協力し合う、豊かな保育園 ●安心して預けられ、安全な保育園 ●みんなが仲良くして、家屋のようにほっとできる保	保育方針	●子ども一人一人と家庭関係を大切に、地域から愛される保育施設を目指します。 ●わらべ唄や絵本を楽しみながら、健やかな心と体をもった子を育成する。	保育目標	●健やかな心と身体をもった丈夫な子どもに育つ保育を願います。 ●年齢にあった心と身体の発達を促す保育をします。 ●人格を尊重し 児童憲章、子どもの権利条約にうたわれているように、一人ひとりを大切に保育します。 ●園、保育者、保護者が協力しあう豊かな保育が日々行なわれるよう願います
社会的責任		人権尊重		説明責任	情報保護	苦情処理・解決
適切な施設として家庭や地域に対し、保育園の役割を果たします。		保育士は保育の営みが子どもの人権を守る為に法的、制度的に裏付けられることを認識し、理解します。		保護者、地域と連携を図り、透明性のある運営をすることで一方的な「説明」ではなく、わかりやすく応答的な「説明」をします。	保育にあたり、知り得た保護者や子どもの情報は、正当な理由なく漏らすことはありません。(児童福祉法第18条の22)	苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置を行い、書面における体制の整備を行い、全職員間で共通理解を図ります。
年齢別保育目標	0歳児	担当の保育士との関わりの中で安心して過ごす。安全で快適な生活リズムをつかむ。				
	1歳児	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える。行動範囲が広がり探索行動が盛んになる。				
	2歳児	象徴機能や想像力が豊かになる。生活習慣の基礎をつくる。たくさん経験を通して感性を豊かにし、感じたことを少しずつ言葉で伝えようとする。				
保育の内容						
年齢		0歳児		1歳児		2歳児
養護	生命の保持	●一人一人子どもの生理的欲求を満たし、子どもの発達に応じて生活リズムを整える。		●保育士との信頼関係がさらに深まり、愛着関係を育む。 ●一人一人子ども生理的欲求を満たし、子		●自我の育ちへの把握と対応 ●自分でやりたいという気
	情緒の安定	●特定保育者が、一人一人子ども甘えや依存的欲求を満たし、信頼関係を築く。●保育者が子供のどつ		●周囲から小さくとも主体として受け止められ、自分を肯定する気持ちがはぐくまれる。●特定保育者が、一人一人子ども甘え		●子ども自身が愛されていることを実感できるような関わり方への心がけ
教育	健康	●オムツ交換をしてもらい、きれいになった心地よさを感じる。保育者と温かいかわり中で、様々な活動や遊びを楽しむ。		●遊びの中で十分に身体を動かして心地よさや喜びを味わい、体の調和的発達を促す。●身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える。		●生活の環境を整えることで自分でできることを自分でやろうとする。●戸外で十分に遊び様々な遊具や用具を使った運動や遊びを楽しむ、諸機能の発達を促す。生活の環境を整えることで自分でできることを自分でやろうとする。
	人間関係	●保育者と十分な触れ合いを通して、安心して過ごす。●保育者にあやしてもらおうことを喜び、親しみを持って抱っこを求めたり、甘えたりしながら安心して過ごす。		●保育者や友だちに関心を持ち、真似をしたり関わろうとする。		●保育者が子どもの仲立ちとなりお互いの思いを伝えることで、順番を待つなどの決まりがあることを知る。●身近な人と親しむ中で、模倣を通して社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。
	環境	●好きな場所や玩具を見つけて、保育者と一緒に遊ぶ。●戸外遊びや散歩に出かけるなどして外気に触れ、気分転換をする。●保育者と一緒に、安心して身回りにあるもや玩具に興味を持ち、見る・触る・なめるなどして遊ぼうとする。		●好きな玩具や遊具に興味をもって十分な探索活動をする。好きな場所や玩具を見つけて、保育者と一緒に遊ぶ。●戸外遊びや散歩に出かけるなどして外気に触れ、気分転換をする。●保育者と一緒に、安心して身回りにあるもや玩具に興味を持ち、見る・触る・などして遊ぼうとする。		●遊具・玩具を整え、見立てた、つもりあそびを保育者と友だちと楽しむ。●自分の周りで起こる様々な事象に関心を持ち積極的に関わり発見を楽しむ。
	言語	●特定の保育士との深い関わりにより基本的な信頼関係が生まれる。●語りかけられることにより声を出したり応えようとする。わらべ唄や絵本を通して保育士とのやり取りを楽しむ。		●保育士との応答的な関わりにより言葉のやり取りを楽しみ、身振りや言葉で表そうとする。●話しかけややりとりの中で実感と言葉が結びつく経験(指差し)を楽しむ。		●生活や遊びの中で友達や保育士等との簡単なあいさつや、言葉のやり取りを楽しむ。

	表現	●いろいろな素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育む。●保育士が歌うわらべ唄や触れ合い遊びを	●水、砂、土、紙、粘土等様々な素材に触れ間隔を楽しむ。 ●保育士と一緒にわらべ唄や歌を歌った	●生活の中で自分なりに感じたことを粘土やお絵かき作品を作って楽しむ。
食育	食を営む力の基礎	●食べることに意欲を持つ。	●食材に興味を持つ。自分で食べようとする気持ちを育て、食べる事の楽しさを感じられるようにする。●乳幼児期に必要な生活習慣を作る。	●意欲的に食べるようになる。食生活に必要な習慣や態度を身につける。●保育士の声掛けで苦手なものも少しずつ食べてみようとする。●食を通して健康な心と体を育て命を大切にする力を養う。
健康管理	日々の体調異常が認められた時の対応。 内科定期健診、歯科検診、乳児検診、身体測定と通知。			
環境・衛生管理	施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検。子ども及び職員の清潔保持。感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有。全職員の細菌検査。救急薬常備。換気、温度、湿度、照明管理。			
安全対策・事故防止	消火器点検、室内外安全点検(遊具を含む)、ヒヤリハット記録と検討。避難訓練(毎月)火災、地震、水害、不審者対応			
保護者への支援	育児相談、園だより、献立表、個人面談、掲示物、連絡ボード、保護者参加行事。			
地域等への支援	保育園の行事に地域の人への参加の呼びかけ。ボランティアの受入れ。地域に広げたお話の会、わらべ唄の会開催。地域のニーズに合った住民との交流。町会への参加加入。			
地域行事への参加	クリーン作戦への参加。町会のお祭りに参加。物品の近隣地域での購入。			
研修計画	キャリアアップ研修。法人研修の継続。保育指针对応の、園内、園外研修の継続。OJTによる園内研修及び新人研修。視察見学、各種保育団体や行政金が実施する研修会への積極的な参加。			
小学校との連携	卒園児の他保育所との連携			
自己評価	自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得。保育士等の評価(自己評価と子供の評価の確立)保育士等の評価保育所の評価(全体の反省による全体計画への反映)法人施設による適切な施設運			



